

第5 公営企業の業務の状況

1 電 気 事 業

(1) 令和4年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億5,500万キロワットアワーと見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益18億5,817万7千円、電気事業費用16億1,201万5千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入10億4千円、資本的支出17億7,989万8千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を着実に推進します。併せて、発電設備全体の老朽化が進んでいる佐波川発電所について、設備の形態や規模の調査を進め、水車発電機を含む電気設備全体の更新工事に向けた取組を推進します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されるので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 令和4年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 4 年 度 (A)	令 和 3 年 度 (B)	増 減 (A)－(B)
年 間 総 販 売 電 力 量	154,752 MWH	153,991 MWH	761 MWH

第12表 令和4年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度 当初予算額(A)	令和3年度 当初予算額(B)	比 較 (A)－(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
電 気 事 業 収 益	1,858,177	1,764,173	94,004	105.3
営 業 収 益	1,780,722	1,725,996	54,726	103.2
附 帯 事 業 収 益	25,133	27,225	△ 2,092	92.3
財 務 収 益	548	550	△ 2	99.6
事 業 外 収 益	51,771	10,399	41,372	497.8
特 別 利 益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
電 気 事 業 費 用	1,612,015	1,612,457	△ 442	100.0
営 業 費 用	1,575,321	1,568,558	6,763	100.4
附 帯 事 業 費 用	32,033	21,978	10,055	145.8
財 務 費 用	1,104	3,007	△ 1,903	36.7
事 業 外 費 用	554	15,911	△ 15,357	3.5
特 別 損 失	3	3	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,000,004	23,632	976,372	4,231.6
資 本 剰 余 金	1	21,417	△ 21,416	0.0
固 定 資 産 収 入	1,000,001	1	1,000,000	100,000,100.0
雑 収 入	2	2,214	△ 2,212	0.1
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	1,779,898	994,194	785,704	179.0
建 設 費	839,000	567,500	271,500	147.8
改 良 費	909,399	343,847	565,552	264.5
投 資	1	1	0	100.0
償 還 金	28,398	79,746	△ 51,348	35.6
補 助 金 返 還 金	100	100	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額7億7,989万4千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金、減債積立金及び資本的収支調整額）で補てんします。

(2) 令和３年度下半期の業務の概要

令和３年度は、年間を通じた降雨量が、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の101.1%と平年を上回りましたが、下半期の渇水に伴い、ダム水位貯留に努めた結果、令和３年度の販売電力量は目標に対して93.1%、電力料金収入は目標に対して97.9%となりました。

最終の２月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の増などにより4,929万1千円の増額補正を、収益的支出予算においては、消費税の増などにより1,912万7千円の増額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において18億1,346万4千円、収益的支出において16億2,336万9千円、資本金収入において1,839万5千円、資本金支出において3億9,511万3千円となりました。

また、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設事業を引き続き実施するとともに、既存水力発電の設備更新に合わせたリパワリングを計画的に推進する取り組みとして、新たに徳山発電所に係る供給力増強調査を実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況（電気事業）

(令和4年3月31日)					(単位 千円)	
区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 ３ 年 度 未 現 在 高		
		当年度償還額	償還額累計			
企 業 債	1,251,000	79,746	1,173,121	77,879		
錦 川 水 系 発 電 所	601,000	37,239	565,782	35,218		
佐 波 川 発 電 所	200,000	12,781	184,706	15,294		
木 屋 川 発 電 所	50,000	3,300	46,644	3,356		
新 阿 武 川 発 電 所	140,000	7,931	115,989	24,011		
末 武 川 発 電 所	260,000	18,495	260,000	0		
一 時 借 入 金	0	0	0	0		

2 工業用水道事業

(1) 令和4年度予算及び経営状況

年間総給水量5億7,200万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益71億3,207万7千円、工業用水道事業費用64億3,737万8千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入16億6,573万1千円、資本的支出57億6,088万6千円を計上し、企業債11億8,621万5千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として木屋川工業用水道二条化事業などを引き続き実施します。

さらに、新規受水企業や契約水量を増やす企業に対して、引込管設置等の初期費用の支援など需要開拓を図る諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 令和4年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 4 年 度 (A)	令 和 3 年 度 (B)	増 減 (A)－(B)
年 間 総 給 水 量	571,637,000 m^3	572,232,000 m^3	$\triangle 595,000 \text{ m}^3$

第15表 令和4年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度 当初予算額(A)	令和3年度 当初予算額(B)	比 較 (A)－(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	7,132,077	7,228,941	△ 96,864	98.7
営 業 収 益	6,618,469	6,725,842	△ 107,373	98.4
営 業 外 収 益	513,605	503,096	10,509	102.1
特 別 利 益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	6,437,378	6,690,660	△ 253,282	96.2
営 業 費 用	6,249,632	6,350,220	△ 100,588	98.4
営 業 外 費 用	177,743	330,437	△ 152,694	53.8
特 別 損 失	3	3	0	100.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,665,731	1,600,746	64,985	104.1
企 業 債	1,150,000	1,240,000	△ 90,000	92.7
資 本 剰 余 金	267,497	258,606	8,891	103.4
固 定 資 産 収 入	5,435	1	5,434	543,500.0
雑 収 入	242,799	102,139	140,660	237.7
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	5,760,886	4,168,632	1,592,254	138.2
改 良 費	4,563,152	2,916,190	1,646,962	156.5
投 資	1	1	0	100.0
償 還 金	1,186,215	1,242,441	△ 56,226	95.5
補 助 金 返 還 金	1,518	0	1,518	－
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額40億9,515万5千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 令和3年度下半期の業務の概要

令和3年度は、一部地域で渇水に伴う自主節水が行われましたが、安定的に給水することができました。

また、さらなる工業用水の安定供給に資するため、木屋川工業用水道二条化事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤の強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、特別利益の増加などにより830万6千円の増額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより1億1,618万円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより8,589万9千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより4億9,983万9千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において72億3,724万7千円、収益的支出において65億6,234万4千円、資本的収入において15億1,484万7千円、資本的支出において36億6,879万3千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

(令和4年3月31日)				(単位 千円)
区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 3 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	29,532,300	1,244,611	13,126,418	16,405,882
小 瀬 川 工 業 用 水 道	1,212,000	52,384	653,095	558,905
向 道 ・ 川 上 工 業 用 水 道	564,000	28,513	341,756	222,244
周 南 工 業 用 水 道	9,149,300	435,692	4,822,823	4,326,477
佐 波 川 工 業 用 水 道	789,000	20,435	149,525	639,475
厚 東 川 工 業 用 水 道	4,634,300	181,969	1,634,892	2,999,408
木 屋 川 工 業 用 水 道	4,560,200	105,941	1,352,631	3,207,569
富 田 夜 市 川 工 業 用 水 道	1,391,100	76,821	587,172	803,928
厚 東 川 第 2 期 工 業 用 水 道	2,150,000	119,096	821,614	1,328,386
厚 狭 川 工 業 用 水 道	2,735,400	94,667	787,566	1,947,834
木 屋 川 第 2 期 工 業 用 水 道	27,000	873	27,000	0
小 瀬 川 第 2 期 工 業 用 水 道	2,320,000	128,220	1,948,344	371,656
一 時 借 入 金	0	0	0	0

3 流域下水道事業

(1) 令和4年度予算及び経営状況

年間総処理水量を863万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、流域下水道事業収益16億6,032万円、流域下水道事業費用16億6,032万円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入9億894万円、資本的支出9億894万円を計上し、汚泥処理施設などの施設の整備や企業債の償還を行います。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 令和4年度流域下水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 4 年 度 (A)	令 和 3 年 度 (B)	増 減 (A)－(B)
年 間 総 処 理 水 量	8,633,065 m^3	8,638,154 m^3	$\triangle 5,089\text{m}^3$

第18表 令和4年度流域下水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令 和 4 年 度 当初予算額(A)	令 和 3 年 度 当初予算額(B)	比 較 (A)－(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
流域下水道事業収益	1,660,320	1,618,439	41,881	102.6
営 業 収 益	688,681	665,991	22,690	103.4
営 業 外 収 益	971,639	952,448	19,191	102.0
収 益 的 支 出				
流域下水道事業費用	1,660,320	1,618,439	41,881	102.6
営 業 費 用	1,617,184	1,571,866	45,318	102.9
営 業 外 費 用	43,136	46,573	△ 3,437	92.6
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	908,940	1,037,845	△ 128,905	87.6
企 業 債	210,300	249,400	△ 39,100	84.3
国 庫 支 出 金	369,400	452,900	△ 83,500	81.6
負 担 金	329,240	335,545	△ 6,305	98.1
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	908,940	1,037,845	△ 128,905	87.6
建 設 改 良 費	608,698	706,817	△ 98,119	86.1
固 定 資 産 購 入 費	2,863	5,876	△ 3,013	48.7
償 還 金	297,379	325,152	△ 27,773	91.5

(2) 令和3年度下半期の業務の概要

周南流域下水道事業及び田布施川流域下水道事業の実施により生活環境の向上や水質保全に取り組んでいます。

令和3年度は、下水処理場における長寿命化工事などに取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の減少などにより7,202万9千円の減額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより7,202万9千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、国庫支出金の減少などにより3億116万3千円の減額補正を、資本的支出予算においては、建設改良費の減少などにより3億116万3千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において15億4,397万9千円、収益的支出において15億4,397万9千円、資本的収入において7億3,417万4千円、資本的支出において7億3,417万4千円となりました。

第19表 企業債及び一時借入金の状況(流域下水道事業)

(令和4年3月31日)		(単位 千円)		
区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 3 年 度 末 現 在 高
		令和3年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,808,482	324,937	2,327,592	2,480,890
一 時 借 入 金	0	0	0	0